

トホホ3
町民・議会は蚊帳の外！

ごみ処理広域化実現可能性調査から実施計画の作成まで、説明や様々な情報提供が平塚市や大磯町では実施されました。

しかし、二宮町では説明はほとんどなく、議員が提案した特別委員会の開催や一般質問も無視されました。町長はかつて、初当選後の議会答弁で「ごみ積替施設の整備について」情報公開をして、皆様と常に共有できる情報で判断していきたい」としながら、肝心のごみ処理広域化問題については疑問に答える情報を提供していません。

トホホ4
桜美園は放置！
必要な施設はどこを作る？

32万人分の不燃物を引き受ける事が決定していながら、そのごみをどこに置くのか、どう処理するのか、なにも説明できない状況は無責任といわざるを得ません。

二宮町は、現在財政危機状態にあり、ごみ処理施設用地を新たに購入する余力はほとんどありません。そして「桜美園内ごみ処理施設の停止等に関する協定」を緑が丘自治会と、富士見が丘3丁目・松根地区とも二宮町ごみ積替施設に関する覚書を締結し、これらの地区にごみ処理広域化施設を新設することはまずできません。

ありえない顛末ウォッチング

トホホ事例その1
裁判は和解。格安の払い下げ料



二宮・秦野県道から桜美園につながる道の北側の脇が駐車場になっている土地は内務省から二宮町に譲与された土地でしたが、払い下げられました。

町有地が長期に渡って民間で使われ、その占有権を主張して、町に無料払い下げを要求する裁判が東京高等裁判所まで上訴されました。この裁判は3月に和解し、二宮町は控訴人に173万164円で払い下げを行いました。

① 格安の払い下げ料

一坪当たり約3万6千円余りの払い下げ料は。相場は約65万円位なので、格安な金額では。賃料請求もしないのも不思議。

② 提訴理由が町長のススメ？

地裁傍聴中、裁判官から控訴人が冒頭陳述で提訴が二宮町長からのススメによるとした発言について確認がありました。控訴人は冒頭陳述では混乱していたと否定をしましたが、何故そんな発言を。

また、活用されていない公共用地はありますが、ごみ広域化処理施設に使えるのでしょうか。

東大果樹園跡地に関しては、「町の活性化に結びつく」と言う観点から購入を決めた経緯があり、賛成議員の中にも防災機能として活用をあげている点などを考えると、ごみの最終処分場同等施設を持つてくるなどとは言えないはず。

施設計画がどうなっているのか、私たち町民にはまったく見えません。

トホホ5

都市計画がないに等しい町？!

積替施設用地は二転三転し、現在整備されている土地は農業振興地域ですが、整備のために、町は農用地区域から除外しました。

また、剪定枝資源化施設の整備予定地も工業団地内で、しかも学校給食センターの隣です。

期限内追われ、使える用地を急遽購入し、その場しのぎで全的にごみ処理施設をどのように配置しているのかという計画性がありません。

トホホ6

危険性はらんだ施設

二宮町に配置が計画されているリサイクルセンターは、ペットボトルと容器包装プラスチックの異物除去や圧縮梱包を行う施設です。

不燃物処理施設については対象ごみが、最終処分場と同じで、平塚市

トホホ事例その2
集客人数がないので美術館認定



「美術館とは言えない」と指摘された「ふたみ記念館」の記事をしお風つうしんブログに掲載しています。
http://shiokaze.hama1.jp/

ふたみ記念館は建築確認申請が「集会所」なのに実態は「美術館」として平成23年10月に開館し、入場料を徴収していたことに県からクレームがあり、しばらく拝観料が無料でした。

その後、町は県に美術館として用途変更し、4月24日にふたみ記念館はリニューアルオープンしました。

① 採算が必要なのに、集客がないから美術館として認定

県は「美術館として認定しても周辺の住環境に影響を与えるほど集客できない施設」と判断しました。

② 大きな窓が必要で

絵画があまり展示できない美術館

換気と防災上の問題で大きな窓を設置しましたが、今度は肝心の絵画が展示できません。やむなく大きな布を掛けて絵画を展示していました。しかし、今後窓をふさいで絵画を展示する事は、県から禁止されています。

の最終処分場の埋め立て状況を確認しながら必要に応じて整備することになっています。

時期、処理方法については未定で、町は今後の技術向上に期待しています。

しかし、この2つの施設は過去に公害発生なども生じた危険性をはらんだ施設です。

平塚市の最終処分場の埋め立て状況は楽観できるものでなく、早急に検討をする必要があります。

★裁判とごみ処理広域化経緯

- ・平成14年7月〜平成19年5月 焼却炉等操業差止請求裁判
- ・平成18年3月 1市2町ごみ処理広域化の基本協定締結
- ・平成18年6月〜平成19年5月 ごみ積替施設に係る支出差止裁判
- ・平成18年9月 「1市2町ごみ処理広域化計画」からの脱退表明
- ・平成18年11月 「積替施設はつくらない」と公約した現町長当選。
- ・平成19年3月 当初予算からごみ積替施設関連継続予算削除
- ・平成19年6月 議会で「積替施設が必要になった」と町長答弁
- ・平成19年7月 工業団地内（給食センター予定地）

暫定ごみ積替施設建設のための補正予算が否決

平成19年8月 桜美園施設の一部を活用したごみ積替場整備のための補正予算が可決

平成19年9月 焼却炉の操業と最終処分場の埋立停止

平成19年10月 ごみの外部搬出・桜美園施設の一部を活用した暫定的なごみ積替開始

平成19年12月 平塚市・大磯町間で「一般廃棄物処理に係る事務事業の広域化に関する基本協定」の調印

平成21年3月 「平塚・大磯ブロックごみ処理広域化実施計画」策定

平成21年3月 二宮町から「ごみ処理広域化への復帰について」の申し入れ

平塚市・大磯町・二宮町で「一般廃棄物処理に係る事務事業の広域化に関する覚書」が締結

平成23年5月 ごみ積替施設建設中止請求裁判

★町民が納得できる施設計画を

桜美園問題のように町の中に対応構造を生む誤りは二度と繰り返すべきではありません。

全町的なごみ処理施設配置を明らかにし、町民が納得できる施設計画を期待します。

命がよろこぶ調理法

自然のサイクルに合った季節の食材を酵素を生かした身体が喜ぶお料理に仕上げる調理法を学びましょう。
◇講師：中川諠美さん（お宿吉水女将）
第2回 5月22日（火）野生の葉の寿司
第3回 7月17日（火）夏野菜のピザ 11:30～13:30 星槎湘南大磯キャンパス（JR大磯駅より送迎バスあり11:00発）
◇持ち物：マイ箸、マイカップ、マイ取り皿、エプロン
◇参加費：3000円
◇問合せ：星槎湘南大磯キャンパス事務局 ☎0463-71-6048
◇申込み：Fax 0463-60-3507 seminar@seisa-mp.jp

魅力発見ワークショップ
「発酵文化、生業文化をテーマに二宮町を歩く」

講師：川廷昌弘さん（日本写真家協会会員・博報堂広報室CSRグループ部長）
*5月26日 みかんのお花見と町歩き
*6月1日 写真作品作成
問合せ：「しお風」神保智子 ☎090-3142-9358

「ひげの漁師」で有名な西山敏夫さんが『一旦カ・セギルベエ！～漁師西山敏夫の相模湾～』を発行します。5月1日発売予定

まちづくり活動紹介展「みんながつながる町(こ)が好き」
4月26日(日)～30日(月・祝) 9:00～17:00
ラディアン(二宮町生涯学習センター) 展示ギャラリー
*催し*28日(土) 10:00～「魅力発見!まちづくり茶話会」
29日(日)「シェーナウの想い」上映会
まちなか♥ふれ愛まつり実行委員会
委員「しお風」神保智子 ☎090-3142-9358

心の唄&囲碁in二宮
4月30日(月・祝) 10:00～16:10
ラディアン ホール 展示ギャラリー
第1部 日本棋院・岡田結美子六段の指導碁 他
第2部 心の唄コンサート 14:00～16:10
出演 木谷正道&心の唄バンド
特別出演 奥田憲弘(口笛奏者)、能條考世(ヴァイオリン奏者)
入場料 1000円(障がい者・中高生500円)
問合せ 暮らしと耐震協議会 (tel&fax: 92-4331 大石)
主催 心の唄実行委員会・暮らしと耐震協議会・進和学園

第35回陽だまりサロン「心の唄コンサート」
5月12日(土) 13:30～15:30 出演:木谷正道さん
デイつばさ(ユータカラヤ真向かい)
主催 NPO法人たすけあいワーカーズ大空
問合せ デイツばさ ☎73-1630

参加費 100円